

# 胃癌（進行・再発） 1st Line XP+trastuzumab 導入

患者ID: @PATIENTID 患者氏名: @PATIENTNAME

身長(cm)	体重(kg)	体表面積(m <sup>2</sup> )	1	コース目
HEIGHT01_D	HEIGHT01_D	#VALUE!		

投与スケジュール: 1コース: 21日間 目標コース回数: 6コース

使用薬剤: カペシタビン (CAP): か<sup>°</sup>シビ<sup>°</sup>錠300mg  
 シスプラチン (CDDP): シスプラチン注 (50mg/100mL/V, 10mg/20mL/V)  
 トラスツズマブ: トラスツズマブ (1V: 150mg, 60mg)  
 ※ 投与前~投与中の心機能異常に要注意(心機能 (EF≥50%) など適正使用ガイドに準ずる)  
 ※ Infusion Reaction に要注意  
 投与中又は投与開始後24時間以内に多く現れるInfusion reactionのうちアナフィラキシー様症状、肺障害等の重篤な副作用(気管支痙攣、重度の血圧低下、急性呼吸促迫症候群等)の発現の報告あり。Infusion reactionが高頻度で発現する点滴開始後2時間以内は特に要注意。

使用基準: class A  
 HER2過剰発現が確認された治癒切除不能な進行・再発の胃癌

- 指示1: 尿量測定 毎日  
 指示2: 体重測定 毎日起床時  
 指示3: 利尿剤投与指示 以下条件でフロセミド1A iv  
 Day1 開始から21時(約10時間)の尿量≤800mL  
 Day2 治療開始より24時間までの尿量≤2000mL  
 Day3~終了翌日 治療継続中における24時間の尿量≤1500mL  
 化学療法開始直前と比べて2kg以上の体重増加があり、利尿剤未使用

注意: Day5以降も水分摂取が少ない場合や尿量が少ない場合には、輸液を考慮すること

投与量:

薬剤	投与量	計算値	投与量(mg)	投与日
か <sup>°</sup> シビ <sup>°</sup>	C法に準ずる			1(夕)~15(朝)
シスプラチン(CDDP)	80 mg/m <sup>2</sup>	#VALUE!		1
トラスツズマブ	8 mg/kg	#VALUE!		1

か<sup>°</sup>シビ<sup>°</sup>1日投与量 (C法)

1.36m<sup>2</sup>未満; 2400mg、~1.66m<sup>2</sup>未満; 3000mg、~1.96m<sup>2</sup>未満; 3600mg、1.96m<sup>2</sup>以上; 4200mg

<< タイムスケジュール: 開始時刻 >>

※記載している時刻は例です。当日の投与予定時刻ではありませんのでご注意ください。

1月1日 (土) ~

※ 内服薬は1日目夕食後より内服開始

内服薬 内服 か<sup>°</sup>シビ<sup>°</sup>錠300mg 0錠 朝・夕食後 Day1(夕)~15(朝)  
 内服 ビ<sup>°</sup>ト<sup>°</sup>キ<sup>°</sup>錠10mg 4錠 朝・夕食後 Day1(夕)~22(朝)

Day1: 1月1日 (土)

2時45分 内服 アプレピタントカプセル 125mg 1×(1) シスプラチン開始1時間前頃

0時00分 ① 生理食塩液 500mL  
 2時間で点滴静注

2時00分 ② 生理食塩液 50mL + グラネセロン 1A + デキサート 9.9mg  
 15分で点滴静注

2時15分 ③ 生理食塩液 250mL + トラスツズマブ 0mg 0.00mL  
 90分で点滴静注

3時45分 ④ 生理食塩液 600mL + シスプラチン (CDDP) 0mg 0.0mL  
 2時間で点滴静注

5時45分 ⑤ 生理食塩液 500mL  
 2時間で点滴静注

7時45分 ⑥ ソリタ T3号 500mL × 3  
 6時間(2時間×3)で点滴静注

Day2~3: 1月2日 (日) ~ 1月3日 (月)

起床後 内服 アプレピタントカプセル 80mg 1×(2) 起床後

2時00分 ① 生理食塩液 50mL + デキサート6.6mg  
 15分で点滴静注

2時15分 ② ソリタ T3号 500mL × 3  
 6時間(2時間×3)で点滴静注

## REFERENCE

Yung-Jue Bang, Eric Van Cutsem, Andrea Feyereislova et al: Lancet 376: 687-697, 2010

Trastuzumab in combination with chemotherapy versus chemotherapy alone for treatment of HER2-positive advanced gastric or gastro-oesophageal junction cancer (ToGA): a phase 3, open-label randomised controlled trial

2011年7月度化学療法プロトコール審査委員会承認: 2011年7月11日 更新: 2016年7月14日